

第 63 回総会・まちづくりセミナーを開催

はじめに

道東技術士会では例年、5月または6月に釧路、12月に帯広で総会を開催しています。

今回の活動レポートでは、本年5月に開催した第63回総会と、釧路市の後援を得て開催したまちづくりセミナーについて報告します。

1. まちづくりセミナー

講師の小松技術士は、当会の副代表幹事で、掛川市助役、北海道開発局建設部地方整備局長などまちづくりに携わってこられました。

今回は、人口減少下のまちづくりにおける課題と方策について釧路市を例として講演していただきました。

日 時：平成 23 年 5 月 20 日 午後 4 時

場 所：釧路市観光国際交流センター

出席者：72 名

演 題：コンパクトなまちづくり

—課題と展望—

講 師：釧路市副市長 小松正明 技術士

講演要旨

釧路市の人口は、1908年(明治41年)の17,000人から2010年(平成22年)の185,000人へとこの100年間に10倍以上の増加となっている。1947年(昭和22年)から1985年(昭和60年)にかけては右肩上がりの急激な増加となっており、これは、マグロ、鰯の豊漁などによる水揚げ日本一(昭和44年～平成3年)となる水産業、同時期に隆盛となった太平洋炭坑と紙パルプなど、釧路の基幹産業が主な要因となっている。

しかし、昭和52年の200カイリ施行、平成14

年の太平洋炭坑閉山などにより、昭和56年の214,694人をピークに人口は減少傾向となっている。

都市計画における将来計画人口は、昭和45年の268,000人から約7年毎に見直しを繰り返し平成3年で188,000人となっているが、これらはその時点での人口の伸び率を基に決定されており、結果として過大な計画によるまちづくりとなってきた。

拡大した市街地と人口減少により、人口密度が薄くなり、都市の劣化がおこっている。また、少子高齢化による人口減少は、消費減少⇒経済活動の縮小⇒土地需要の低下⇒土地の価値低下⇒市全体の価値低下⇒人口密度の低下⇒町内組織が粗になる⇒地域社会の弱体化、というデフレスパイラルに陥る要因となっている。

人口減少による影響は、大都市では縁辺部の郊外住宅地の劣化が問題になるのに対し、地方都市では縁辺部よりも劣化度合いの大きい中心部の方が問題となる。釧路市ではかつてのメインストリートの北大通から1本中にはいると青空駐車場(空き地)が



小松氏の講演

多く、主な空きビルも増えている。これらの中には所有者が不明なものもあり、将来的には国有財産となるが、多額の取り壊し費用が必要となることから大きな問題になるものと考えられる。このことは今後日本全国が直面する課題であるが、釧路市はその先進都市といえる。

コンパクトシティにおける課題は、①人口減少による公共施設の維持②モビリティ（自動車など）を持たない住民への配慮③土地所有などの権利を毀損する施策はできないなどであり、目指すべき方向性は、①魅力向上による中心部への誘導②都市将来像を市民と共有③協力が得られる施策から取り組むことである。

現状を反転するための方策は、①湿原など釧路らしさ・強みを生かす②地域の人自らが楽しむイベントの開催③夕日ハイボールなど常に新しい価値を生み出す④外部に情報を発信し続ける⑤生涯学習⑥住民が一丸となって多様な都市ブランドを形成することである。

2. 幹事会

昨年決定した幹事が集合し、初めての幹事会を行いました。

セミナー開催前の 1 時間程度でしたが、現場見学会など今後の開催について各人の案を出し合うとともに、役割分担についても話し合いました。

3. 第 63 回総会・懇親会

日 時：平成 23 年 5 月 20 日 午後 6 時

場 所：釧路プリンスホテル

出席者：41 名(技術士 34 名、技術士補 7 名)

まちづくりセミナー終了後、会場を移して総会・懇親会を開催しました。

冒頭、工藤代表幹事より、当日のまちづくりセミナーや幹事会での打合せ事項を含め、道東技術士会の活動状況について報告がありました。

続いて、上野事務局長より平成 22 年度の収支決算報告があり、市田会計監事より収入、支出とも適切な運用であったとの監査報告があり、出席者の拍

手により承認されました。

決算報告に続き平成 22 年度 2 次試験に合格され晴れて技術士となられた 4 名と平成 21 年度合格の久保さんを含めた 5 名の方に自己紹介をお願いしました。

平成 22 年度 2 次試験合格者

佐藤 之泰(釧路市上下水道部)

清水 慎吾(株)郡土木コンサルタント)

福田 正人(拓北地下開発(株))

村上 雅彦(東邦コンサルタント(株))

久保 直樹(株)ズコーシャ)

以上、敬称略

総会後の懇親会では、皆さんがそれぞれ近況を語り合うなど、和やかに歓談しました。

おわりに

今回、初めて幹事会を開くなど、徐々にではありますが当会の活動も充実してきています。これからも幹事の皆さんとともに、会員の皆さんが楽しみながら学べる催しを企画していきますので、今後ともご協力の程よろしくお願いします。

なお、道東技術士会ではホームページを開設し、活動状況をお知らせするとともに、会員登録もできますので、興味のある方はのぞいてみてください。(URL <http://doto-engineer.net/>)

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、道東技術士会の報告とさせていただきます。